

科目名	体験演習（7月16日） 車谷先生 （1月21日）	単位	面接1単位	配 当 年 次	1年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具、ノート						
備 考							
授業内容	1. 今、学校現場は・・・。 ・学校生活を振り返る。（ワークシート） ・現在の学校現場の抱える問題点や課題について解説する。 2. 学校の組織について ・学校がどのような形で運営されているかを解説する。 3. 教員を目指して （ドキュメンタリー映像から学ぶ） 4. 教育の新しい動きについて （新学習指導要領がめざすもの						

科目名	体験演習（8月8日） 赤松先生 （2月2日）	単位	面接1単位	配当年次	1年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備考	動きやすい服装						
業内容	幼稚園は、どんなところ？ 教育基本法 11条 幼児期の教育 学校教育法 第3章 台22条・23条 法律の位置づけられている。 ① 遊んでみよう ・模擬保育室で ② 思い出してみよう ・大好きだった遊び ・先生は？ ・友だちの事 ・幼稚園（保育所）で好きだった場所 ・行事について（演奏・セタ・クリスマスツリー・プール） ・楽しかったこと ・楽しくなかったこと ・お母さん（家族）との幼稚園で過ごしたこと ③ 幼稚園の写真や映像を見て「幼稚園らしさ」とは 例えば ・子どもたちが区動かしていると思うばのめりこんで遊んでいると思う場面 ・体（心）をよく動かしていると思う場面 ・子どもと先生 ・子ども同士 ・子どもたちが好きそうな場所 ・描いたり作ったりしているかな？ ・カバンや靴など持ち物の始末は？ ・手洗い・うがいの様子 ・トイレは？ ④ クラスでの一斉活動						

科目名	体験演習（8月27日） 大空先生 （2月25日）	単位 単位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	動きやすい服、靴 ※スカート、ヒールは不可						
備考	参考図書「音楽運動療法入門 野田 療」工作舎						
授業内容	この授業では、音楽運動療法的一端を実際に体験する。 トランポリンやフィジオボールに乗り、心身がどのように変化するかを体感し音楽運動療法に ついての理解を深める。 また、障害のある状態をああ疑似体験することで支援者として恕のように関わったら良いか を考える。 ① 音楽運動療法の基本的な考え方 ② トランポリンを使つての療法を体験する ③ フィジオボールを使つて療法を体験する ④ 障害のある子の見え方、聴こえ方を疑似体験する						

科目名	音楽Ⅰ	単位	面接 2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	なし（授業内で資料を配布する）						
持参物	・筆記用具						
備 考							
授業内容	教育現場において楽曲を演奏・指導するに当たり、楽譜に関する正しい知識・読解力をつける事は必要不可欠である。楽典の基本やコードネームの初歩を学ぶことにより、音楽的素地を養う事を目的とする。 第 1 回： 譜表と音名 第 2 回： 拍子 第 3 回： リズムと言葉 第 4 回： 音程 第 5 回： 西洋音楽史（ルネサンスまで） 第 6 回： 音程 第 7 回： 調と音階 第 8 回： 和音・コードネーム 第 9 回： 和音・コードネーム 第 10 回： 西洋音楽史（古典派まで） 第 11 回： 発想記号、楽曲の形式 第 12 回： 西洋音楽史（ロマン派以降） 第 13 回： 移調・移旋 第 14 回： 楽典の復習 第 15 回： 楽典試験 練習問題に取り組みながら楽典を学ぶ。また西洋音楽の歴史を学び、クラシック音楽が時代とともにどのように変化してきたのか、理解を深める。 理論だけではなく、リズム打ちやキーボードを使った実践なども適宜取り入れたい。						

科目名	図画工作 I	単位	面接 2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書							
持参物							
備 考							
授業内容	※後日公開予定						

科目名	幼児と人間関係	単位	面接 1 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備 考							
授 業 内 容	1. オリエンテーション ・授業の目標・内容を知り、受講に関する目的意識を明確にする ・「自分を知る」ところからはじめよう 2. 領域「人間関係」に求められること ・人間関係をめぐる現代的課題と社会的背景 ・領域「人間関係」が目指すもの 3. 領域「人間関係」のねらいと内容について 4. 0歳児～3歳未満児の育ちと人との関わり ・人との信頼関係を基盤とし、安定感・安心感を得られるような関わりとは 5. 3歳児の育ちと人との関わり ・自立心の芽生えを育み、自己充実して遊べるようになる基礎を築く 6. 4歳児の育ちと人との関わり ・仲間との出会いと関わり 7. 5歳児の育ちと人との関わり ・友達と生活や遊びをつくる、遊びの中で育つ協同性 8. 小学校教育への接続 ・就学までに育てたい人間関係 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について 9. 幼児の自己主張について ・けんかやいざこざ、トラブルを通して成長する幼児 10. 気になる幼児への支援① ・保育実践より、人との関わりが難しい幼児とは 11. 気になる幼児への支援② ・人との関わり方が難しい幼児への支援を考える 12. 道徳性・規範意識の芽生えについて ・規範意識を育むとは ・幼児期における道徳性の芽生えを育むために 13. 子育ての支援 ・保護者の理解と支援 保育者の役割 14. 教材研究や環境の重要性を理解する ・人間関係を育む遊びや教材を研究する 15. まとめ						

科目名	幼児と環境	単位 単位	2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	適宜プリント配布						
持参物	色えんぴつ又は、水性マジック（12 色以上） 筆記用具						
備 考							
授業内容	第 1 回：領域「環境」ねらいと環境 ・本授業のガイダンス ・幼稚園教育要領が示す「環境」について、学生たちの問題意識に問いかけながらねらいと内容を理解する 第 2 回：ヒトの進化・発達と環境 1 ・ヒトの主体性を環境との関連から学ぶ ・DVD 「なぜ人間になれたか 1」視聴する 第 3 回：ヒトの進化・発達と環境 2 ・ヒトの主体性を環境との関連から学ぶ ・DVD 「なぜ人間になれたか 4」視聴する 第 4 回：ヒトの進化・発達と環境 3 ・ヒトの主体性(環境に適応する生きる力)について、先行研究における理論を紹介する ・講義内容の整理と自己分析をノートにまとめる 第 5 回：幼児と「もの」「自然」環境 ・生活の場として保育環境を考える。環境をねらいとする保育を想定し、時代と「もの」、季節と「もの」保育室、園庭など園内の環境について DVD 「保育内容：環境」を視聴する 第 6 回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める① ・「自然」「もの」「数量と文字」「地域と社会」の 4 つの視点から保育構想を深める ・「すごろく」の保育教材を通して、領域「環境」のねらいを深める ・先行研究を通じた「すごろく」の保育・教育の取り組みを考察する 第 7 回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める② ・「すごろく」製作 第 8 回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める③ ・「すごろく」製作計画書の提出 第 9 回：領域「環境」にねらいと内容に基づき、保育の構想を深める③ ・「すごろく」製作計画書の提出 第 10 回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める④ ・「すごろく」製作 第 11 回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める⑤ ・「すごろく」製作 第 12 回：領域「環境」の「すごろく」の発表① ・情報機器、教材を活用して発表する ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める 第 13 回：領域「環境」の「すごろく」の発表② ・情報機器、教材を活用して発表する ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める 第 14 回：領域「環境」の「すごろく」の発表③ ・情報機器、教材を活用して発表する ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める 第 15 回：本授業のまとめ						

[illegible]

科目名	幼児の音楽表現Ⅰ	単位	2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	『乳幼児の音楽表現』 赤ちゃん学会 中央法規 『こどものうた 200』 小林美実 チャイルド社						
持参物	筆記用具、教科書						
備 考	少し身体を動かしますので動きやすい服装・靴で来てください。						
授業内容	○幼児期において育みたい資質・能力について、又表現領域のねらい及び内容について理解する。主体的で対話的・深い学びが実現する課程を踏まえて具体的な保育を考察し、幼児が手段とする様々な表現方法を学ぶ。教材研究をするとともに、幼児について深く理解をするために、赤ちゃんから幼児までの音・音楽との関わりについて学び指導法を見に付ける。併せて保育の評価について学び省察の仕方を理解し指導計画の立て方を学ぶ。Ⅰにおいては特に身体表現と声による表現について学ぶ。 第1回：授業の概要。領域「表現」のねらい及び内容について 第2回：年齢による表現の変化、声の発達について 第3回：わらべうたについて 第4回：わらべうたによる大人の関わりとその指導法 第5回：友達との関係構築するわらべうたの意義 第6回：幼児と歌う意味・意義について考察する 第7回：表現する楽しさを味わわせ、表現する意欲を引き出す保育実践を考察する。 第8回：幼児の想いやイメージを生かした音楽活動について 第9回：領域との関係から季節の歌を歌うことの意味を知る 第10回：手遊びの持つ意義について理解し実践する 第11回：幼児の特徴でもある身体運動について 第12回：ボディパーカッションを体験し、一番身近な楽器としての体と音楽の関わりについて学ぶ 第13回：情報機器などの教材を用いた指導法について 第14回：情報機器や視聴覚教材を活用し実践する 第15回：まとめ 乳幼児の声・歌との関わりについて						

科目名	幼児の造形表現 I	単位	2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書							
持参物 備考	筆記用具、スケッチブック A4、カッターナイフ、はさみ、のり(でんぷんのり)、えんぴつ(2B) 水彩絵の具セット(12 色)、筆大、筆小、筆洗い、パレット、定規(30 cm)、 水性マーカー(8 色・太い方が望ましい)、作品を持ち帰る手提げ袋						
授業内容	○絵の具やクレパスなどの画材には、描画以外の様々な可能性がある。それらを体験することで保育造形の広がりを理解し習得する。また、造形あそびを体験することで、教材や環境から造形的な遊びを構想し、こどもたちに体験させることが出来るよう、基礎的な知識・技術を習得する。 第 1 回：乳幼児の造形活動について 第 2 回：平面技法の基礎と実践① パスを使って スクラッチ、ステンシル、パチック 第 3 回：平面技法の基礎と実践② 絵の具を使って デカルコマニー、ステンシル 第 4 回：平面技法の基礎と実践③ 絵の具を使って ドリッピング、流し絵、にじみ絵 第 5 回：平面技法の基礎と実践④ 絵の具を使って 糸を使って、ストローを使って 第 6 回：子どもの造形と壁面製作① 技法を生かして壁面製作につなげる 第 7 回：子どもの造形と壁面製作② 装飾を施して完成させる 第 8 回：粘土の造形① 感触教材として体験する 第 9 回：粘土の造形② 造形素材として体験する 第 10 回：粘土の造形③ 立体作品を完成させる 第 11 回：造形あそび—新聞紙で立体を作る 第 12 回：造形あそび—作成した立体で遊んでみる 第 13 回：造形あそび—空間をつくる・ひもを用いて 第 14 回：造形あそび—空間をつくる・新聞紙を用いて 第 15 回：まとめ ※試験は実施しない						

科目名	演習 1－1（造形）（6月11日） 本多先生	単位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	クレパス、水彩絵の具、筆、画用紙 A 4 5 枚						
備 考							
授業内容	この授業では図画工作の様々な表現方法・素材を経験し、造形の楽しさを体験する。また、造形表現の基礎知識と技術も習得する。 ① ガイダンス（図画工作の授業の題材・教材研究について） ② 教材研究 平面技法演習（クレパス） ③ 教材研究 平面技法演習（水彩絵の具） ④ 教材研究 立体技法演習（粘土）						

科目名	演習 1-1 (音楽) (6月18日) 紺谷先生	単位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	演奏したい、または今後学びたいピアノ曲がある場合は、楽譜を持参して下さい。						
備 考	本演習は、ピアノ演奏経験の有無は問いません。						
授業内容	「演習Ⅰ」においては、担当教員それぞれの専門分野の一端に触れることによって、教育と芸術の両面において段階的に専門性を高めていく。 本演習においては、様々な作曲家の音楽に触れながら西洋音楽の歴史を概観し、楽譜の成り立ちや記譜法を学ぶことによりピアノ演奏に必要な読譜力を習得する。また、日本における西洋音楽受容史に触れることによって、唱歌や童謡についても学ぶ。さらに、ピアノの楽器の特性を知る事によって、幼児教育、初等教育における音楽活動に必要なピアノ演奏技能を総合的に向上させる事を目的とする。 1. 西洋音楽の歴史－様々な作曲家の音楽について 2. 読譜力を高める－楽譜の成り立ちや記譜法、作曲家の自筆譜について 3. 日本における西洋音楽－洋楽受容史から唱歌、童謡について 4. 20 世紀～現在に活躍しているピアニスト達の演奏に触れる－CD、DVD 鑑賞 5. ピアノの楽器の特性を学ぶ－ピアノ演奏技能を高める 6. まとめ－ピアノ演奏技能の総合的な向上						

科目名	演習 1－1（教育）（6 月 25 日）	単位	面接 1 単位	配当年次	2 年次	授業形態	演習
教科書	特にありません						
持参物	授業内容に関する文献や新聞記事などの資料がありましたら持参してください。						
備 考							
授業内容	1. 小学生が抱える問題 学級崩壊・いじめ問題・不登校問題について考える 2. 保育園・幼稚園・小学校のなめらかな繋がり 小1 プログラムについて考える 3. 教育とは何か、教育の基礎・基本 子どもの理解の基本について考える 4. 生徒指導（生活指導）と教育相談 小学校における生徒指導について 5. 学校と保護者・地域との連携の在り方 虐待について考える						

科目名	演習 1－2（7月9日）横田先生 （12月17日）	単位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備 考							
授業内容	○スクーリングでは、「心理療法」について学びます。 子どもと保護者への心理的介入を行うために、遊戯・行動療法の基礎を学びます。 ※スクーリングの授業内容については、受講者の人数により変更することがありますのでご了承ください。						

科目名	演習 1－2（7月30日）大空先生 （1月7日）	単位	面接1単位	配当年次	2年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	動きやすい服装・靴（スカート・ヒール不可） ピアノを弾ける人は何の曲でも良いので弾ける曲の楽譜を持参する						
備考	参考と図書「音楽運動療法入門 野田 燎」工作舎						
授業内容	体験演習では、受療者として音楽運動療法を体験した。 この授業では、療法者として音楽運動療法を行う。 療法における歌唱、ピアノ演奏、受療者との関わり方、療法プログラムの作り方を学ぶ。 ① 音楽運動療法の実際をDVDで観る ② 療法者、支援者としてどのように受療者と関わったら良いかを考える。 ③ 療法プログラムを作成する。						

科目名	演習 1－2（8 月 10 日）中谷先生 （1 月 27 日）	単 位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具・スケッチブック「マルマンスケッチブック A4（287×202 mm）24 枚 S131」						
備考	実際の医療の現場における臨床として絵画療法演習を行います。						
授業内容	○実際における絵画療法について ○絵画療法の基本的前提としていえる心構え ○絵画療法において向き合う様々なケース ○絵画療法における具体的に必要なこと ○絵画療法のシステム、プロセス ○教材研究 ※授業の内容は、予定であり変更する場合があります。ご了承ください。						

科目名	音楽科指導法Ⅰ（初等）	単位 単位	面接２単位	配当 年次	２年次	授業 形態	講義
教科書	教員養成課程「小学校音楽科教育法」有本真紀他（教育芸術社）						
持参物	教科書、リコーダー（ソプラノ）、鍵盤ハーモニカ（大学は全音ピアノ使用）						
備考	リコーダー、鍵盤ハーモニカは大学にもありますが、口をつけるので、吹き口は各自で用意していただくのが望ましいです。模擬授業を行うので、１～６年の教科書の内、１学年分のみ（出版社は問わない）各自購入しておくこと。模擬授業することを念頭に見ておいてください。						
授業内容	小学校教育の基本として、「生きる力」や、三つの視点などを理解したうえで、音楽科教育の意義と目標を理解する。表現領域である、歌唱・器楽・音楽づくり、鑑賞領域と共通事項を理解し、教授するための基本的音楽知識について理解するとともに、反復や問いと答えなどの音楽の仕組みについても理解する。鑑賞教材や、歌唱共通教材についても理解を深め、感じ取ったことを言語化する方法についても考察し、指導法を学ぶ。授業を行う際の、教材研究についても深め、授業計画を作成し、模擬授業を行いながら実践力を身に付ける。授業における評価の観点についても理解する。 授業内容 １）小学校音楽科の目標・指導内容について学ぶ ２）歌唱共通教材の研究 ３）器楽の指導法を学ぶ ４）音楽づくりについて理解を深める ５）鑑賞教材の研究 ６）指導案作成法を知り、模擬授業を行う						

科目名	体育科指導法	単位 単位	面接２単位	配当 年次	２年次	授業 形態	演習
教科書	「こころとからだをつなぐ運動遊び ～体育科指導法～」 山田美紀子 谷玲子（ふくろう出版）						
持参物	教科書 ※最新版(表紙がオレンジ)を購入してください。 <u>教科書が古い版(表紙が水色)の場合は、スクーリングを受講できませんのでお気を付けください。</u>						
備考	Zoom 授業で行います。 動きやすい服装で受講をお願いします。						
授業内容	１、子どもの体力 ・子どもの体力・運動能力の低下 ・スキヤモンの発達発育曲線・教員の指導力 ・実技「ラジオ体操」 ・実技「楽しいリズム体操」♪動物のヨガ体操 ２、学習指導要領 ・育成すべき資質能力の３つの柱 ・教科のねらい・領域構成と学習内容・体育科の目標 ・健全育成のための活動プログラムと運動遊び ３、学習評価の意義とねらい ・年間指導計画と授業時数 ・主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・評価の観点・単元計画の見直しと改善点 ・授業風景の閲覧 ４、小学校の体育の授業① ・学習指導と学習評価 ・教材研究 ・小学校体育授業の実際「からだほぐし運動」「体づくり運動」 ・振り返りとまとめ ５、小学校の体育の授業② ・多様な動きをつくる運動遊び・器械運動 ・陸上運動・水泳 ・実技「楽しいリズム体操」♪ひまわりサンバ♪アヒルのダンス ６、小学校の体育の授業③ ・ボール運動・表現運動 ・サーキット遊びの組み立て ７、学習指導案① ・単元計画・単元目標・教材観・児童の実態・評価規準・学習指導の工夫 ・本時の指導展開例 ８、学習指導案② ・指導案を書いてみよう ・振り返りとまとめ						

科目名	国語科指導法Ⅰ（初等）	単 位	通信 1 単位 面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	講義
教科書	「小学校 国語科授業研究」（教育出版） 「小学校学習指導要領解説国語編」最新版						
持参物	・ 筆記用具 ・ 教科書						
備 考							
授業内容	○国語科学習指導要領の内容と指導上の留意点について学びます。 ○授業技術として重要な発問・板書・筆順や字形について確認します。 ○言葉の決まりや記号の読み方や役割などを再確認します。 ○物語文や説明文などの読解教材について指導方法を学びます。 ○低・中・高学年による教材の違いや特性、指導法について学びます。						

科目名	保育内容指導法総論 保育内容指導Ⅰ・保育内容指導法	単 位	通信 2 単位 面接 2 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	講義
教科書	「新保育シリーズ保育内容総論」（光生館）						
持参物	テキスト、幼稚園教育要領解説（文部科学省） 3 日目のみ：室内用と戸外用運動靴 新聞紙 10 枚程度・ハサミ・のり・両面テープ・セロテープ・割り箸・パス又はマジック						
備 考	なし						
授業内容	【1日目～2日目】 1. 保育の基本原理 2. 現代社会における保育 3. 保育の実践とこども理解 4. こどもと保育の観察 5. 環境による保育 6. 遊びと保育 7. 発達に即した保育計画 8. まとめ 【3日目】 幼稚園現場で直接こどもの様子や教師の援助、環境などについて学び、保育を考える。						

[illegible]

科目名	芸術表現演習Ⅱ(音楽)身体表現Ⅰ(身体表現Ⅰ-1)	単位	面接2単位	配当年次	2年次	授業形態	講義
教科書	なし						
持参物	動きやすい服装と靴						
備考							
授業内容	1. 発声練習、話し方練習、歌唱練習、振り付け練習等を通して表現のいろいろを体験する。 使用する教材は配布し各自で製本。(15分程度の製本講習で完成) それぞれのタイトルやキーワードの紹介 ・腹式呼吸 ・滑舌の練習 ・1分間スピーチ ・日本語の特徴 ・数字で会話 ・自己紹介と他己紹介 ・ドレミパイプ ・ハンドベル ・譜読みとプロンプの練習 ・歌詞に合わせた振り付け ・リズムに合わせた動作やステップ 2. コミュニケーションゲームを体験し、相手に伝える表現を学ぶ。 それぞれのタイトルやキーワードの紹介 ・名前ゲーム ・アイコンタクト ・ボール投げ ・架空ボール投げ ・彫刻レッスン ・フォーカスゲーム ・ステイタス ・倒れかけレッスン ・鏡レッスン ・アイマスク 3. 歌舞伎、文楽、落語など日本の舞台作品の鑑賞、オペラ、バレエ、ミュージカル等の舞台作品の鑑賞を通して、表現の様々を知る。						

科目名	芸術表現演習Ⅲ（身体）身体表現Ⅰ（身体表現Ⅰ-2）	単 位	面接2単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	A4資料を配布するため、ファイルを用意すること。						
備考	授業には動きやすい服装で出席すること。						
授 業 内 容	子どもの全面的な発達、そして様々な対象者へのムーブメント活動の重要性と実際を習得する。 身体を使って表現するにあたり、身体運動における理論を学ぶ。 また、ムーブメント教育・療法の支援者として必要な技術を身に付け、感性や柔軟な思考力を養うための実技演習を行う。 1. ガイダンス 2. 身体のしくみ 3. 身体表現の基礎 4. ムーブメント教育・療法の概要 5. 子どものためのダンスムーブメントの実際 6. ムーブメント環境の実際 7. リズムの効用・空間意識 8. イメージの表現 9. アセスメントの概要 10. 認知機能を育てるムーブメントの実際 11. 運動の動機づけと発達 12. 創造性を育てるムーブメント 13. 音楽運動療法 14. プログラムの展開 15. 様々なムーブメント体験・まとめ						

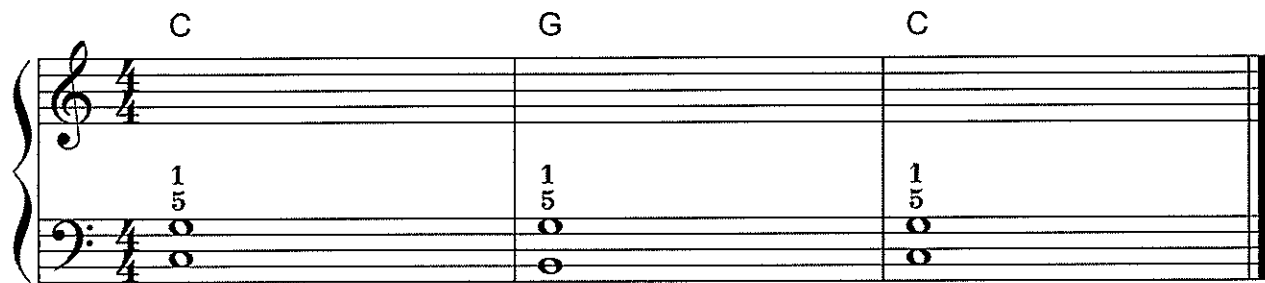
科目名	ピアノ１－１	単 位	面接１単位	配当 年次	２年次	授業 形態	演習
教科書	バイエル教則本/ブルクミュラー25の練習曲/ソナチネアルバム１・２等（各自のレベルにあった物） こどものうた 100 著）小林美実 出）チャイルド本社 編／ 小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集 出）学研 編曲）大海由佳／古谷和子／長谷川恭子 （各自書店にて購入）						
持参物	教科書、筆記用具						
備考	受講についてはピアノ１－１ → ピアノ１－２の順番で受講するのが望ましい。						
授業内容	次の(A)、(B)の楽曲について、個人レッスンを行い、最終試験ではその成果を発表する(受講までにしっかり学習して準備しておくこと)。 ※ピアノ未経験者であっても受講は可能とする。その場合には必ず、ト音記号、ヘ音記号を読める様に事前準備を行っておくこと。 (A)子どもの歌(弾き歌い)を２曲 教科書「こどものうた 100」または「小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集」の中から選択すること。なお、楽譜の難易度については、各自で自分に見合ったものを選ぶこと。 ※ピアノ未経験者は、添付ファイル「チューリップ」「きらきら星」「かえるの合唱」の中から２曲選択し、音名(ドレミ)を読み、歌えるようにしておくこと。ピアノ１-１では右手と歌のみの弾き歌いで可とする。 (B)各自が選択したピアノ曲を１曲(バイエル５９番までの場合は２曲) ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は５分以内で完結する曲とする。 また次の楽曲を除く。 ・バイエル No.41,42,43,44,63,68,69,70,71,86,87,各調の音階 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 ※ピアノ未経験者はバイエル No.3～6、8の音名(ドレミ)をあらかじめ読んでおくこと。 授業内で適宜、進めていき、No.8を試験曲の候補とする。 【試験曲：子どもの歌(弾き歌い)１曲・ピアノ曲 １曲】 ※試験曲は暗譜を必要としない。 ☆成績については、受講時の取り組む姿勢、上達度、授業内実技試験の結果などによって総合的に評価する。						

科目名	ピアノⅠ－２	単位 単 位	面接１単位	配当 年次	２年次	授業 形態	演習
教科書	バイエル教則本/ブルクミュラー25の練習曲/ソナチネアルバム1・2等（各自のレベルにあった物） こどものうた 100 著）小林美実 出）チャイルド本社 編／ 小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集 出）学研 編曲）大海由佳／古谷和子／長谷川恭子（各自書店にて購入）						
持参物	教科書、筆記用具						
備 考	受講についてはピアノ1－1 → ピアノ1－2の順番で受講するのが望ましい。						
授業内容	次の(A)、(B)の楽曲について、個人レッスンを行い、最終試験ではその成果を発表する（受講までにしっかり学習して準備しておくこと）。 ※ピアノ未経験者であっても受講は可能とする。その場合には必ず、ト音記号、ヘ音記号を読める様に事前準備を行っておくこと。 ※ピアノ1－1受講済みの場合、ピアノ1－1とは異なる曲を選ぶこと。 (A) 子どもの歌（弾き歌い）を2曲 教科書「こどものうた 100」または「小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集」の中から選択すること。なお、楽譜の難易度については、各自で自分に合ったものを選ぶこと。 ※ピアノ未経験者は、添付ファイル「チューリップ」「きらきら星」「かえるの合唱」の中から2曲選択し、音名（ドレミ）を読み、歌えるようにしておくこと。 (B) 各自が選択したピアノ曲を1曲（バイエル59番までの場合は2曲） ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は5分以内で完結する曲とする。 また次の楽曲を除く。 ・バイエル No. 41, 42, 43, 44, 63, 68, 69, 70, 71, 86, 87, 各調の音階 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 ※ピアノ未経験者はバイエルNo. 3～6、8の音名（ドレミ）をあらかじめ読んでおくこと。 授業内で適宜、進めていき、No.8を試験曲の候補とする。 【試験曲：子どもの歌（弾き歌い）1曲・ピアノ曲1曲】 ※試験曲は暗譜を必要としない。 ※弾き歌いに関してはピアノ1－2では両手伴奏が望ましいが、未経験者の場合にはその限りではない。 ☆成績については、受講時の取り組む姿勢、上達度、授業内実技試験の結果などによって総合的に評価する。						

(ピアノ I で使用楽譜)

重音 (C: ドソ、G: シソ)

C G C



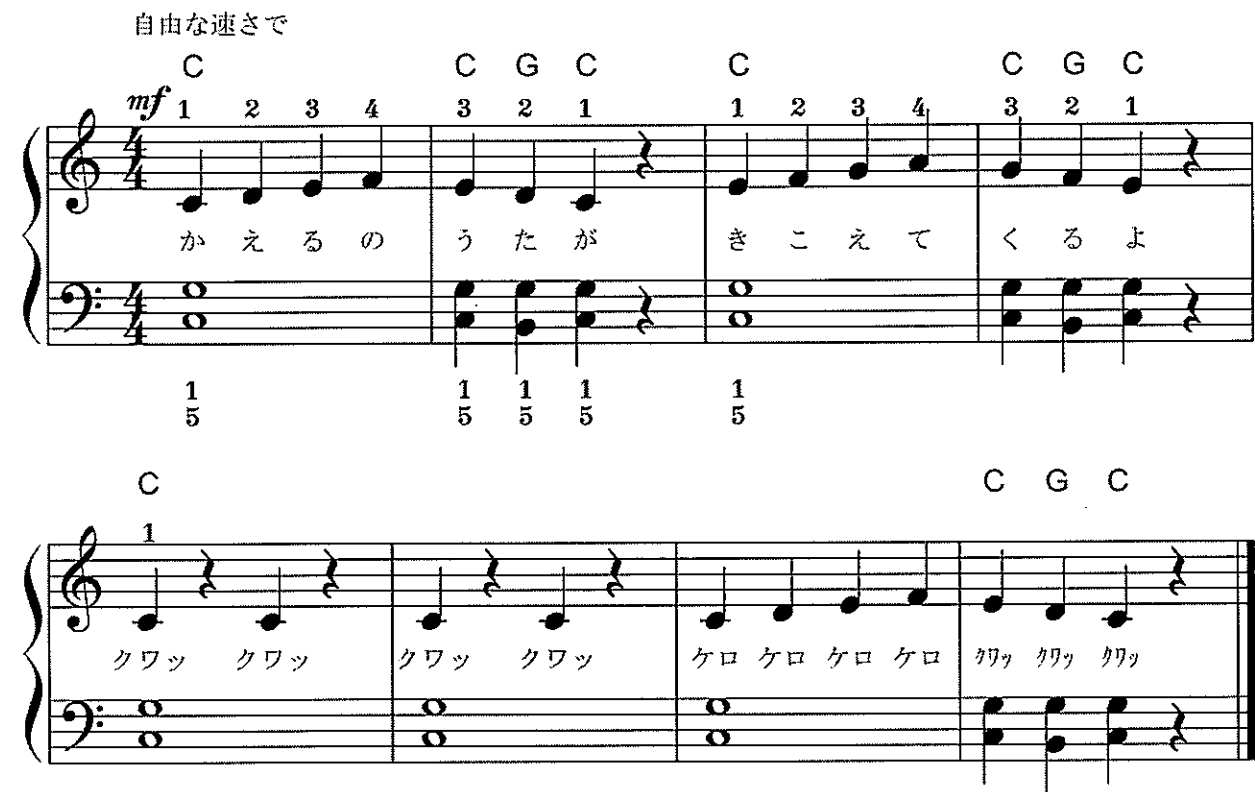
かえるの合唱

岡本 敏明 作詞 / 外国曲

自由な速さで

C C G C C C G C

mf 1 2 3 4 3 2 1 1 2 3 4 3 2 1



か え る の う た が き こ え て く る よ

クワッ クワッ クワッ クワッ ケロ ケロ ケロ ケロ クワッ クワッ クワッ

前奏

きらきら星

武鹿 悦子 訳詞 / フランス民謡

1 4 5 4 4 3

きらきら ひかる おそらの

5 1

2 1 5

ほしよ まばたき しては

1 5 1

5 1 4

みんなを みてる きらきら

1

5 4 4 2 1

ひかる おそらの ほしよ

5 1 1 5

前奏

チューリップ

近藤宮子 作詞／井上武士 作曲

1 2 3 5 3 2 1

さ い た さ い た チューリップの は な が

5 1

Detailed description: This system contains the first four measures of the song. The melody is in treble clef, 2/4 time. The lyrics are 'さいた' (sai ta) in the first two measures, 'チューリップの' (tūrip-pu no) in the third, and 'はなが' (ha na ga) in the fourth. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above the notes. A '5' is written below the first measure and a '1' below the fourth.

1

な らん だ な らん だ あ か し ろ き い ろ

Detailed description: This system contains measures 5-8. The melody continues in treble clef. The lyrics are 'な らん だ' (na ran da) in measures 5-6, 'あ か し ろ' (a ka shi ro) in measure 7, and 'き い ろ' (ki i ro) in measure 8. A '1' is written above the first measure.

4 2 4 5 4 2 3 2 1

ど の は な み て も き れ い だ な

Detailed description: This system contains measures 9-12. The melody continues in treble clef. The lyrics are 'ど の は な' (do no ha na) in measure 9, 'み て も' (mi te mo) in measure 10, 'き れ い だ' (ki re i da) in measure 11, and 'な' (na) in measure 12. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above the notes.

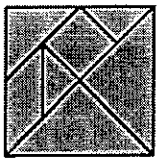
前奏

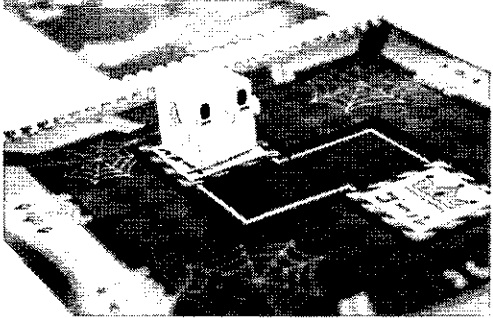
科目名	演習Ⅱ-1（鳥海先生）	単位	面接 1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	演習
教科書	特にありません。						
持参物	授業内容に関する文献や新聞記事などの資料がありましたら持参してください。						
備 考							
授業内容	授業計画 1. 演習Ⅱの進め方：卒業研究に向けて 2. テーマの選択・決定について 1 3. テーマの選択・決定について 2 4. 先行研究の調査 1：検索技術の向上 5. 先行研究の調査 2：検索の実際 6. 先行研究の調査 3：検索技術の向上 7. 文献の読解 1：文章の構造 8. 文献の読解 2：主張・結論の抽出 9. 文献の読解 3：読解結果の発表 10. 資料の整理 1：統計処理の基礎 11. 資料の整理 2：変量の統計 12. 資料の整理 3：検定 13. 文章作成 1：論文の構成 14. 文章作成 2：論理的な文章 15. 文章作成 3：論述の練習						

科目名	演習Ⅱ-2（鳥海先生）	単位	面接1単位	配当年次	3年次	授業形態	演習
教科書	特にありません。						
持参物	授業内容に関する文献や新聞記事などの資料がありましたら持参してください。						
備考							
授業内容	授業計画 1. テーマの設定 2. 調査・資料収集の基本 3. 調査の準備1：調査の方法について学ぶ 4. 調査の準備2：質問項目・選択肢等の作成 5. 調査の準備3：質問項目・選択肢等の作成 6. 調査の準備4：質問項目・選択肢等の作成 7. 調査の実施1：質問用紙の作成 8. 調査の実施2：質問用紙の編集 9. 結果の分析1：データ分析の実際 10. 結果の分析2：データ分析の実際 11. 結果の分析3：分析結果の表現 12. 結果の分析4：分析結果の発表と議論 13. 卒業論文概要の作成1 14. 卒業論文概要の作成2 15. 卒業論文概要の発表と提出						

科目名	社会科指導法	単 位	通信 1 単位 面接 1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	講義
教科書	小学校学習指導要領解説社会科編 初等社会科教育研究 山口幸男・山本友和 編著（学芸図書）※ ※1 年次配当「社会」履修時に事務室から配布						
持参物	ノート、筆記用具、「小学校学習指導要領 社会編」「初等社会科教育研究」						
備考	小学校社会科が担っている教育目標についての理解を深めること。また、社会科の授業づくりにとって、教員自身が「社会」に、また「社会科の授業づくり」に興味関心を深めること、そして、文化も含めた「様々な社会事象」に対して自らの認識を深めていくことが大切である。授業者としては、学生が「社会科」が好きになるような講義内容を目指したい。						
授業内容	1. 1 年次に使用した教科書「初等社会科教育研究」を使って、社会科の歴史、社旗化の目標、社会科の内容について復習する。特に、社会科の存立基盤と目標について学ぶ。 2. 「日本の国のかたち」について考える。教育基本法の前文の中に「民主的で文化的な国家をさらに発展させる」の文言がある。歴史は、先人からの文化の受け取りと、次への伝播に他ならないと言える。私たちの国がどんな文化を積み上げてきたのかを考える。 3. 授業づくりについて考える（1） 社会科とつながりが深い 1, 2 年生の生活科、3～6 年生の「総合的な学習の時間」について、授業記録をもとにして、「授業のねらい」について学ぶ。 4. 授業分析を行う。 中学年の授業記録を見、授業づくりにおいて大切にされなければならないことは何かについて協議し、学び合う。 5. 授業づくりについて考える（2） 3, 4 年生の社会科の授業づくりについて学ぶ。小学 3, 4 年生の社会科の教科書を参考にし、単元のねらい、教材の工夫の仕方、発問について考察する。 6. 授業づくりについて考える（3） 小学校 5, 6 年生の社会科教科書を参考に、指導案の作成（目標・教材観・本時の目標・授業展開）について学ぶ。 7. レポート課題について、解説・説明を行う。 テーマ 1 からテーマ 6 までを説明する中で、質疑・応答を行う。その過程で、原稿の教科書を参照しながら、自らのレポート課題の作成に向けて、準備を行う。 8. まとめとテスト 二日間の講義の中から、関連する問題 3 問を出す。自らの考えをまとめる形で答案を作成する						

科目名	算数科指導法	単 位	通信 1 単位 面接 1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	講義
教科書	「初等算数科教育法」黒田恭史 編（ミネルヴァ書房）						
持参物	・筆記用具 ・教科書						
備考							
授業内容	① アイスブレイク：呼んでほしい名前、得意なこと 3 つ、生まれたまち・育ったまち・住んでるまちの 3 項目を一人三分間で話し、質疑応答する。 ② 算数の思い出（箇条書きに 5 項目、いつ・どこで・だれと・どんなことがあった）学校・学級に限らず家庭や地域などどこでの思い出でもよい。 ③ かたちで遊ぼう「タングラム」：教科書に記載されていた図形教材を子どもの立場になって楽しもう。 ④ 自分の思い出を振り返って、自分は子どもたちにとってどんな思い出を作れる先生になりたいかを 400 字以上 600 字程度までで述べなさい。 ⑤ 算数科教育とプログラミング教育を体験しよう：プログラミング教材「トイオ」を取り上げアンブラグドプログラミング（PC を使わない）とビジュアルプログラミング（PC/タブレットを使用）をワークショップ形式で学び、学びで気づいたことを語り合いながら「新しい学び」を体験的に身につけます。 ⑥ 「TED 日本語 - ミッチェル・レズニック：子供達にプログラミングを教えよう」の動画を視聴。 https://digitalcast.jp/v/16734/ ★この動画はスクーリングの事前に視聴しておくことが望ましい。 ⑦ 2 日間のスクーリングで学んだ内容を振り返り、④で記述したリポートを再構成して発表し合い、算数の好きな子どもたちが育っていく道筋をみんなで考える。						




1. 課題

次の設問より 1 問選択してスクーリング終了後 1 週間以内に提出してください。

- 算数科の各領域のうち一つを選び、その指導の課題となっているところを列挙しなさい。
また、その具体的な打聞の方法について自由に論じてください。
- 算数科の各領域のちから一つを選び、指導の目標と内容を整理し、学年間の関連についてわかり易く説明しなさい。

提出課題 （「算数科指導法」指導書より）

[illegible]

科目名	保育内容（言葉）	単 位	通信 1 単位 面接 1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	講義
教科書	「新時代の保育双書 保育内容ことば 第2版」成田 敏男編（株）みらい						
持参物	・ 筆記用具 ・ 好きな絵本（1～2冊） ・ 色鉛筆もしくはクレパス ・ 教科書						
備考							
授業内容	本授業は、子どもがどのようにことばを発達させるのか、それを支えるものはなにかなど、乳幼児期における言語発達について学ぶことから始まる。 特に、ことばを話す前の前言語期から子どもがどのような能力を発達させるかを理解し、早期からの保育者の対応の大切さを考える。 そして、その基本的な知識を実際の子どもの言動の解釈に用いながら、その場でどのような応答的かわりやことばかけがことばを育てることにつながるかについて、子どもの年齢や状況に合わせて考える機会を提供する。また、絵本を中心としたことばを育てる文化財や、発達年齢に沿った絵本の選択、読み聞かせの方法についても学ぶ。 さらに、ことばの遅れや言語発達障害の事例から子どもの特性を理解し、保育現場で保育者が支援として何ができるかについても学ぶ。 受講者が持参した絵本もしくは本学科にある絵本を使って簡単な描画や発表を行う実践も含まれている。						

科目名	保育内容（表現）	単位 単 位	通信１単位 面接１単位	配当 年次	３年次	授業 形態	講義
教科書	事例で学ぶ保育内容（領域）表現						
持参物	教科書						
備　考	あらかじめテキストは目を通しておいってください						
授業内容	子どもは生まれてすぐから泣くという形で感情を表出する。しかし幼児になり、周りの人や友達との関係を築きながら、自己主張し感情を表出することから、周りと協調性を持ちつつ、言葉や音、身体運動や絵画などを媒介として「表現」として表すようになる。そのため保育者は子どもの身体的・精神的及び人間関係の築き方などの特徴を知りつつ、感性を高めなくてはならない。幼稚園教育要領に即して「表現」領域を考察しつつ、幼児の表現について学び、幼児が表現するよう導くべき保育力を身に付けるよう演習を持つことが大切である。 １ 領域「表現」の目標、内容について理解する ２ 音楽表現の方法について、また素材である音について学ぶ ３ 音聴取、音感受について学ぶ ４ 身体表現による表現活動について学ぶ ５ 言葉による表現活動における教授法を学ぶ ６ 身近な音による表現活動、器楽について学ぶ ７ 指導案の仕組みと理解と作成 ８ 模擬保育の実施と考察						

科目名	こどもふれあい体験実習	単位	面接 1 単位 通信 1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	実習
教科書	無し						
持参物	筆記用具						
備 考							
授業内容	幼児との関わりを通して幼児理解を行い、担任の指導を観察することから保育者の援助、保育準備などがどのように行われているかなどを具体的・実践的に学ぶ。 実習内容や状況などを報告し合い、幼児理解や保育者の援助などについて理解を深め、担当教員から事後指導を受ける。 自身の今後の取り組みや目指すものを具体化していけるようにする。						

科目名	幼児理解の理論と方法（幼児）	単位	通信 1 単位 面接 1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	講義
教科書	「幼児理解と保育援助」（ミネルヴァ書房）※スクーリング時は持参不要						
持参物	・筆記用具 ・ノート						
備考							
授業内容	1. 子どもの視座にたつ 幼児理解ということか、どのような視点で理解するのか さまざまなエピソードから読み解く。 2. 発達の視点で子どもを理解する 幼児理解のために不可欠な発達の視点について理解を深める。 3. 発達をつまづきや偏り 平均と個人差の理解、可能な支援について考える。 4. 子どもと遊び 遊びを通した支援と援助の方法について学ぶ。 5. 環境としての保育者 保育のための自己理解。 6. 理解者としての保育者 子どもと保育者の相互作用と援助。 7. 支援の実際 具体的なエピソードをもとに支援についての考察を深める。 8. まとめの課題 まともと単位認定課題。						

科目名	教育とICT活用の理解と方法	単位 単 位	2 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	演習
教科書	小学校学習指導要領（最新版）文部科学省 小学校学習指導要領解説（最新版）文部科学省						
持参物	筆記用具・教科書						
備 考	※授業中プリント配布						
授業内容	○これからの学校教育において、個別最適で協働適な学びによる指導や児童の情報活用能力の育成、校務の情報化に情報通信技術を効果的に活用する事は、教員の必要かつ重要な資質能力となる。そこで、本科目では、その意義や活用方法を将来の教育現場で積極的に生かせるよう学んでいく。 ・ ICT の活用事例をもとに、その方法や機能を応用して他の学習においても活用を想定する。 ・ 端末機器や自作のデジタル教材を活用して、個別、協働的な学習を模擬授業で展開する。 ・ 情報モラルや情報活用能力育成の視点をもち、児童が機器操作できる指導方法を身に付ける。 第１回：主体的・対話的で深い学びの授業展開における ICT 活用の意義※双方向ツール(主な演習機能) 第２回：教科指導(国語・外国語)における ICT の活用例と応用 ※文字＆音声の入出力 第３回：教科指導(社会・生活)における ICT の活用例と応用 ※デジタルカメラ撮影 第４回：教科指導(算数・体育)における ICT の活用例と応用 ※録画＆再生 第５回：教科指導(理科・家庭)における ICT の活用例と応用 ※Web&デジタル資料 第６回：教科指導(音楽・図画)における ICT の活用例と応用 ※表現&鑑賞ツール 第７回：道徳・総合、教科横断的な指導における ICT 活用事例と応用 ※プレゼン&思考ツール 第８回：電子教科書の活用法と特別な支援を要する児童への配慮 ※電子教科書の各種機能 第９回：遠隔・オンライン教育の意義とその運用 ※Zoom、双方向通信ツール 第１０回：プログラミングの指導法①(総合・クラブ活動) ※Scratch による創作 第１１回：プログラミングの指導法②(算数・理科) ※同上による図形描画、センサー実験 第１２回：教育データの活用と校務の情報化 ※総合型校務支援システム 第１３回：情報モラル教育と教育情報セキュリティ、および外部連携の在り方 第１４回：ICT 機器と自作デジタル教材を利用した模擬授業① 第１５回：ICT 機器と自作デジタル教材を利用した模擬授業②						

科目名	心理療法演習-1 心理療法演習-2	単位	面接2単位	配当 年次	3年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	・筆記用具						
授業内容	① 全ての心理療法の基盤、カウンセリングの原点であるカール・ロジャーズの来談者中心療法について、講義と実習（カウンセラー役や相談者役をそれぞれ演じるロールプレイ等）で理解を深め、日常の実践に少しでも活かせるように、いわゆる傾聴技法を身につける練習を行いたい。 ② 加えて、心理療法実践の前提ともなる、心理アセスメントについても学習（できれば実際に体験）したい。具体的には、描画法によるパーソナリティテストや認知特性を把握する検査、職業適性検査など、受講生の希望も考慮しながら、体験的に知ってもらう機会も設けたい。 ③ それぞれの参加者の持っている問題意識についても議論する機会も作りたい。 ④ 直接心理療法場面を見学等することはできないが、現場での実際の話や、相談支援現場の見学（心理療法を行っているところではないが、若者サポートステーションなど）も、可能な限り取り入れることも検討したい。						

